



同窓会だより

第18号

平成8年8月18日

静岡県立磐田南高等学校

同窓会

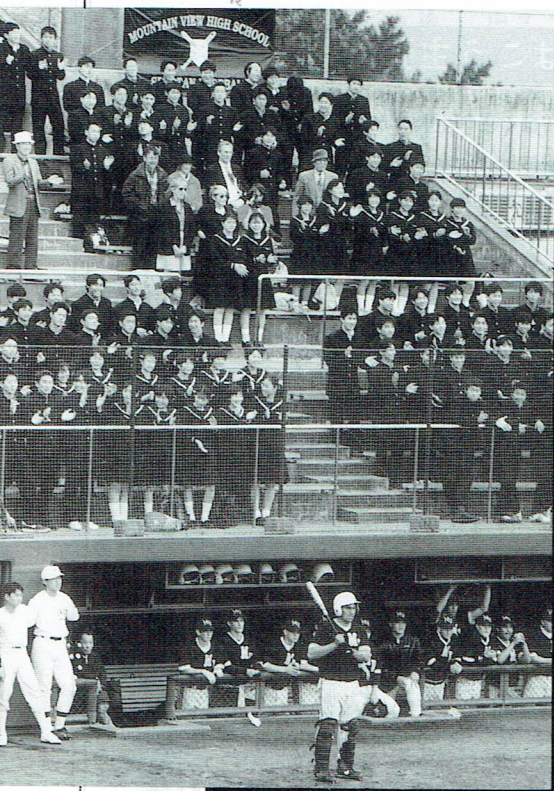
印刷 総合印刷(株)大進堂

M・V (マウンテンビュー) 高校生来校

●市内4校と親善野球など

4月16日～22日

MOUNTAIN VIEW HIGH SCHOOL VISITORS



姉妹校のマウンテンビュー高校から、トム・ベア一校長が引率して男女生徒や父兄など33名が来校。生徒宅にホームステイをして、親善を深めるとともに、市内4高校との親善野球、富士「山の村」での合宿、市内外の企業や寺社など施設見学を行いました。

〔抹茶体験もしました〕



在校生から

“永遠なれ”質実剛健の校風

小田原勇先生の顕彰碑 大先輩が校庭に建立

同窓会長 江間 金作(高5回)



皆様方におかれましては、ますますお元気にご活躍のことと拝察致します。日頃は、同窓会に何かとご理解ご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。今年、特筆すべきことがたくさんありました。その一つは、初代教頭小田原勇先生の記念碑が小田原山に建てられたことです。小田原先生に直接薫陶を受けた中一回から七回までの大先輩のご厚志による

もので、除幕式は、八月十八日午前、本部総会に先立って行われました。小田原先生の奥様、榛原高校の同窓会長鎌田勝様、そして母校の柴田校長先生にご臨席を賜り、大先輩の方々、在校生代表の見守る中、厳粛のうちに式が進められました。ご存知の通り、小田原先生は、母校創立者の尾崎補馬先生と共に質実剛健の校風を育ててくださいます

校風の担い手になろうとする気運が活発になっていきます。今年の総会は、時代の先端をいくインターネットを取り入れた斬新な会となりました。これを機に二十一世紀に向かって多くの皆さんと情報を交換しながら、より充実したプログラムを作ってくださいれば幸いです。そして、在校生の真摯な姿です。校長先生はじめ先生方、職員の方々のご指導に心から御礼申し上げます。勉学のみなならず、文化部、運動部、ボランティア、国際交流などの素晴らしい活動を支えるべく一層の努力をまいります。皆様のご活躍、ご健勝を祈念し、今後一層のご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

MESSAGE

先輩から

見中・磐田南高同窓会員の皆様には、ますます清祥のことと拝察申し上げます。日ごろは、本校教育の充実・発展のために格別なご支援、ご協力を賜り心から御礼申し上げます。同窓会磐田支部総会をはじめ関東支部総会、関西支部総会等に、江間会長とともに私も出席させていただきました。皆様方から母校に寄せる熱き思いと期待そしてご激励を頂き、本当にあ

りがとうございます。今年の四月、米国カリフォルニア州マウンテンビュー高校訪問団一行三十二名(今回は野球部中心)が来校、磐田球場で本校との国際親善試合が実現し全校生徒が両校の応援に分かれての声援の中、八対八の引き分け。このイベントはテレビ・新聞等に報道されるなど話題を呼び、本校創立七十有余年の輝かしい歴史に新たな一ページを記す画期的なものとなりました。この国際交流は尾崎教育振興基金事業の援助によるもので皆様に深く感謝申し上げます。今春卒業生の大学進学状況は昨年に次ぐ好成績を収めました。ベルとともに授業開始、真剣に切磋琢磨した結果と喜んでおります。近年の本校の大学合格実績は他高の注目を集めており、平成七年度は全国の一流校(北は北海道から南は

本校の進学実績に注目



校長 柴田 和洋

全国の有名校が 本校を視察

これにおごらず本年度も文武両道と心の教育による人間の育成に一層力を入れて参ります。皆様の益々のご健勝とご活躍を祈念して近況報告いたします。

アプ拉克サスへの飛翔

早大・法二年
高46回 鈴木成公君
の主張(抜粋)

〜 新入生に向けて 〜

「はぐま学生」はこう主張する

母校から進学した有志が集い「はぐま学生会」がつくられている。この会が発行している会報には、若き「はぐま学生」たちの赤裸々な主張が記されている。第13号からの「アプ拉克サスへの飛翔〜新入生に向けて〜」と題する主張を抜粋して紹介しよう。会報は在校生にも愛読されている。

大学には日本全国から様々な人が集まってくる。世の中には本当におもしろい人間がいるのだと感心する。そのような人間の前では、自分が本当に未熟に思えてしまう。しかし、ただ待っているだけでは『出会い』はない。すごい人間に会いたければ、自分もすごい人間にならなくてはならない。一流の経済学者は、三流の経済学者とよりも、一流の社会学者と親しいのだ。そして一流の人間は人を見る目を持っているのだ。以上から、大学時代に為すべきことは、多くの『出

会い』の中からよき友を得てより視野を広げること。(肩書でしか人を判断できないようではいけない)そして内面を磨くこと。その中で良い本、良い言葉、良い絵画などの新たな『出会い』があるだろう。そこで感性を大いに磨くのだ。それらは全て、やりたいこと即ち『夢』を表現するためである。そして今は大いに『理想』を見るがよい。そのためのモラトリアムなのだから。ただ自由だからといっ

て何をしても良いというのではない。(中略)
「この世は一つの劇場にすぎぬ。人間のなすところは一場の演劇なり」(クリソストムス)
人生劇場青春編は、もうすでに序幕している。この劇場では、皆が主役なのだ。何をしても自由なのである。そこで周りを気にしていたら何もできないだろう。感性の感じのままに表現するのだ。しかし、そこで大事なものは本能の赴くま

まに表現するのではなく『他者』を意識することである。『他者』を意識するということは、実は自分を知らなければならないのだ。自分を知らなければ『他者』を正統に評価できず、素晴らしい関係を築き、人生劇場の共演者となれるのだ。その共演者となり得る無限の可能性を秘めた人間の集う場、それが大学なのだ。そこで君達は思い思いのシナリオを書くが良い。そして思う存分演じるのだ。感性の赴くままに。(中略)

を表現するのではなく『他者』を意識することである。『他者』を意識するということは、実は自分を知らなければならないのだ。自分を知らなければ『他者』を正統に評価できず、素晴らしい関係を築き、人生劇場の共演者となれるのだ。その共演者となり得る無限の可能性を秘めた人間の集う場、それが大学なのだ。そこで君達は思い思いのシナリオを書くが良い。そして思う存分演じるのだ。感性の赴くままに。(中略)

を表現するのではなく『他者』を意識することである。『他者』を意識するということは、実は自分を知らなければならないのだ。自分を知らなければ『他者』を正統に評価できず、素晴らしい関係を築き、人生劇場の共演者となれるのだ。その共演者となり得る無限の可能性を秘めた人間の集う場、それが大学なのだ。そこで君達は思い思いのシナリオを書くが良い。そして思う存分演じるのだ。感性の赴くままに。(中略)



母校は国分僧寺・尼寺の上

磐田南高校の校舎は遠江国分僧寺の北側部分に乗っており、グラウンドの北側は国分尼寺の南限に続いている。さらに校地の大部分は両国分寺の間に設けられた関係施設(倉院・大衆院など)に属している。こうしたことはテニスコート・プールあるいは「はぐま会館」用地などに良好な遺構が残っていたことから推定できるが、国分寺の寺域の外側に多くの関連施設が存在することが知られるようになったのは比較的新しいことで、その様子が明らかにされたのは現在でも上野国分寺などごく一部の国分寺にとどまっている。そうした意味では磐田南高校の敷地は今後の国分寺の研究にとって重要な意味をもっていると言つことになる。

今後の国分寺研究に重要

ところで、国分寺の創建については教科書でも取り上げられているので、ここではその終末に付いて、近年の調査成果をもとに考えてみよう。

平安時代に編まれた類従国史の弘仁十年(西暦八一九年)八月甲戌の条に遠江国分寺焼失の記事が見えるので、九世紀の始めにはかなりの部分が焼失したことが推定されるが、それは屋

が、遠江国分寺はその後も国分寺としての機能は維持していたようで、それは寺域の北東側に十世紀代の規

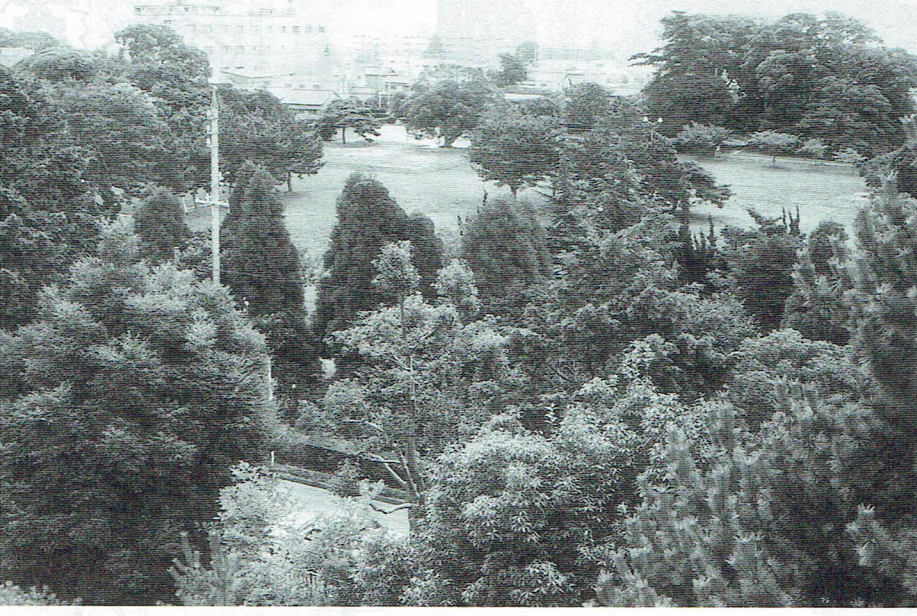
模の大きな建物遺構が発掘されていること、或いは「講院・金寺」と墨書された土器が見られることなど知ることが出来る。「金寺」は言うまでもなく「光明四天王護国寺」国分寺を指す言葉であろう。また瓦を細かく観察してみると、最終末期の瓦は遠江国分寺に伝統的なS字紋(これは変形の唐草紋である)とは全く異なった新たな文様意匠を採用している。それと同時に造瓦の技法も大きく変わることが知られる。こうした変化は遠江国分寺だけでなく、資料の観察が出来た三河・駿河



「貴重な遺構が発見された「はぐま会館」付近

高12回 平野吾郎

〔母校天文台より国分寺跡を見る〕



平安時代に編まれた類従国史の弘仁十年(西暦八一九年)八月甲戌の条に遠江国分寺焼失の記事が見えるので、九世紀の始めにはかなりの部分が焼失したことが推定されるが、それは屋

同窓会員の年輪

(今年の例)

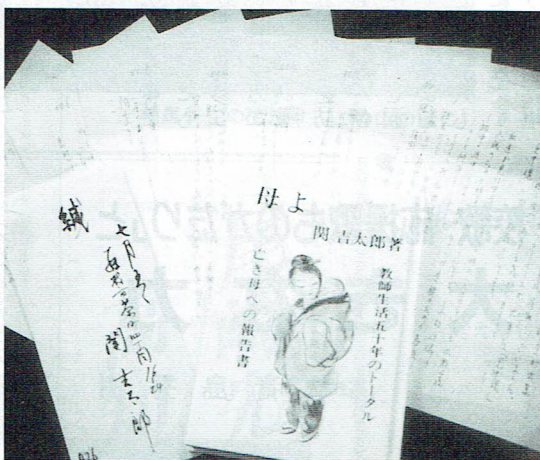
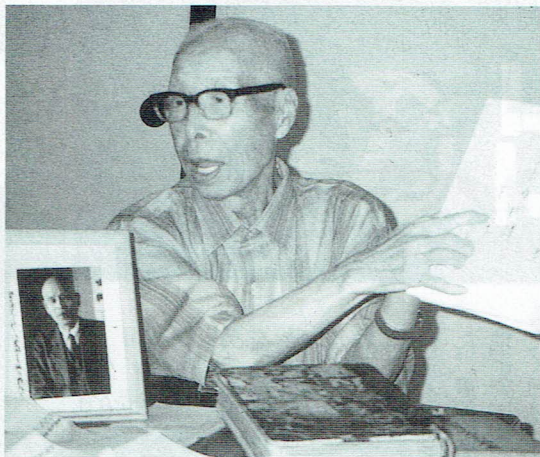
- 同窓会入会(18才・高48回)
- はぐま学生会(学生時代) 大学生で組織、年6回会報発行、コンパ実施、情報交換と親睦を深める。同窓会からも資金援助。
- 卒業10年会(30才・高37回) 恩師を囲んで同窓会を開き年次の結束をはかる。新しく年次委員を選出し10年後の総会当番に向け準備開始。年次への資金援助のある最初の年。
- 卒業20年会(40才・高27回) 総会当番年次となり総会の企画・運営等本部と連携し一切の責任を負う。今年は70回記念総会。
- 卒業30年会(49才・高18回) 物故された会員・客員の慰霊祭を総会当日ははぐま会館において主催する。
- 卒業40年会(59才・高8回) 同窓会本部に資金援助を行う。
- 卒業50年会(67才・中21回) 記念行事を行い母校に記念品を贈呈する(ここ数年は図書購入資金)
- 卒業60年会(78才・中10回) 総会当日同窓会より記念品贈呈がある。
- 卒業70年会 本年は見中1回生がこの年を迎える。

<p>総合厨房設備設計施工</p> <p>株式会社 中松</p> <p>代表取締役社長 加藤 武(高7回)</p> <p>静岡市下島430の2 TEL.054-237-6291</p> <p>浜松・磐田・沼津・清水</p>	<p>御弁当から会社・施設の食堂運営まで 総合「食」企業をめざす</p> <p>株式会社 いわきゅう</p> <p>本社 〒438 磐田市見付5085の4 TEL 0538-32-9270</p> <p>代表取締役会長 鷹野 三平(見中8回) " 社長 鷹野 靖(南高15回)</p> <p>現在の営業範囲 東・清水市より 西・名古屋(一の宮市)まで</p>	<p>運転免許は</p> <p>遠鉄磐田自動車学校</p> <p>・普通・大特・大型・自二・けん引</p> <p>磐田市見付5015 TEL <0538> 32-7200(代)</p>
--	--	---

元氣印の大先輩

中1回
関吉太郎さん
(藤枝市在住)

翌日、関さんから追伸



創立当時の情熱 今も

七月四日
訪問

「寺田・牧野・杉浦のオリンピック選手を出したプールを一生懸命作ったが、私達一団は一回だけ」
師弟一丸となって学校を創った当時の情熱がほとばしるお話しに、つい身を乗り出してしまいました。

中学を出ていなくても、検定を受けただけで先生になれた時代のことです。授業は豆本が頼りでした。誤植がわからない先生と、気付けている生徒との問答の様子には、涙をだして笑ってしまいました。そして、そんなズッコケも、人間形成には不可欠ではないかと深く考えさせられました。

関さんは「この4月に姉を、5月に妻を亡くして寂しい。しかし、妻にこの思いをさせなくてよかったです。」
(洋子・迪子)

母一念母をしひとり恋ひ恋ひて 恋ひて死になん身を終ふるまで

「母よ」 関 吉太郎著より

関さんが十八歳の夏、亡くなった母への報告書でもある「一行日記」は、現在も続けられており、随筆、標語等、七冊の大学ノートにびっしり書き込まれている。「累積は力なり」を実践されている。
己を高めて価値ある一生を過ごすことが、亡母を生かす唯一の道であると悟

私達が見付中学に入學した時代(大正十一年)にも、上級学校入試のための競争は激化していました。それ故、近隣の掛中、浜中、それから静中などでは受験のための勉強に全力を傾注していました。
そうした折、新設校の校長に就任した若年の尾崎校長は、こうした世相に抗して「知識よりも人格、手腕よりも人物」という精神教育重視を理想とする教育に着

体験的PTA会長論

高2回 高橋一良

「見中魂」のことを 便箋八枚に切々と
<一部紹介>
眼し、強固な信念と自信とで一貫されたのです。(中略)
モッコ運びの忍耐力と人間愛で、すべての世事に処して行くという行動力、世間を気にしない積極性、これが見中魂です。
今の世相を見るに、もう

ての忍耐が出来なくて躓を忘れてしまいました。
来日したマザー・テレサは「日本には母がない」と嘆きました。親の理想と示範のなくなった現状は悲しい。自己主張のみ強くて実践を忘れている現在の母親の生き方を悲しく思う。
(中略)
「見中魂」は、捨て身の業です。体当りです。情熱です。忍耐です。そして世のためを思い、日本中をよくしたい、幸福にしたいと我が身を忘れる純情人間愛の固まりです。(後略)

磐田南高校PTAは、社団法人後援会、同窓会という素晴らしい先輩たちの母校愛に支えられています。卒業生である自分は、父兄や先生に母校の伝統や校風を少しでも多く知ってもらいたいと思いました。そして生徒たちに磐田南高校の良さを認識し、誇りをもってほしいと切に願ひ、今一番若い後輩たちに伝えたいことは何かと自問自答してみました。
そうだ。マウンテンビュー高校の話しよう。幸い自分は、平成七年三月に訪問団の一員としてマ高を訪れている。そして、その素晴らしい目を当たりにしたのだから。若い時に外国の文化に触れる機会を持つことは、何と貴重だろうと生徒たちの交流ぶりを見てしみじみ思いました。
このように日米の高校が姉妹の関係を結び、単なる観光とか交流とかを越えた精神的結びつきを持つことができるシステムをどの学



小田原山の手入れをする 在校生たち



マウンテンビュー高校 体育館に響く磐田南高校歌

校より早く作りあげたことに、誇りを感じました。
今、隔年で訪問団を交換しています。南高生の参加費には「尾崎教育振興基金」より補助金が支給されます。尾崎基金とは、初代校長尾崎楠馬先生の残された財産をもとに見付中学、磐田南高の卒業生を中心に浄財を募り、母校の教育振興のために創られたものです。初代校長の名を冠すること自体もめったにないことで、尾崎教育精神を現在に伝えようとする意図が明らかに伝えています。
現在の生徒たちに「労作教育」の意味を伝えたり、小田原山の話をしたりする枕に、尾崎教育振興基金とマウンテンビュー高校との関係を話せば、話はわかりやすいものになる筈です。一年間会長をさせていただいて、くり返しこの話をしてきました。諸先輩から受け継いだものを、現在の生徒たちに伝えていくことをPTA会長の責務と思ひ、実行してまいりましたが、どれだけ伝えることができただかは正直わかりません。
ただ、今も母校には時代の意匠を装いながらも伝統や校風というものが、確実に息づいているのを感じることができました。鹿兒島出身の桑原教頭先生(この四月、新居高校へ栄転)が、学校新聞に小田原山を紹介した一文を寄稿なさり、生徒たちに伝統と歴史の継承を呼びかけておられました。また、この夏には初代教頭小田原勇先生の顕彰碑が、大先輩たちの手で建てられました。
母校の明るい未来が予感され、何よりうれしく思います。

企画/デザイン/印刷/ホームページ

株式会社 大進堂

〒438 静岡県磐田市岩井2295
TEL(0538)32-9165代 FAX35-3720

代表取締役 鈴木康之(高6回) 専務取締役 鈴木功三(高12回)
鈴木 浩(高27回) 鈴木隆之(高34回) 大石正直(高38回)

♥旅は心の日曜日♥

株式会社 エマ観光

代表取締役 江間金作(高5回)

本社/磐田郡福田町中島211の1
TEL.(0538)58-1234(代)

営業所/磐田市二之宮37の2
TEL.(0538)37-5555(代)

信頼され愛される

磐田信用金庫

理事長 鈴木 優(高2回)
常務理事 神谷 忠男(高3回)

新たな出逢い

信仰と愛
 伊藤潤治さんより
 戦後すでに五十年、にもかかわらず伊藤君の墓参りをしたいといわれる方が時々おられます。また、墓には行けない方で拙宅を訪ねて下さる方もおられ、伊藤君の写真に手を合わせ涙を流す方も何人か見ました。遺族としては、故人も地下でどんなにか喜んでくれるだろうと感謝に堪えません。

ある大学教授からこんな言葉を教えてもらいました。「もし、我々が我々の尽力によって、この広い世界でたった一人の人にも本当の喜びを分ち与えることができるならば、我々の人生は無駄ではない」。伊藤君もそう考えていた一人ではないでしょうか。そうして、その実践を可能にしたのはキリスト教に対する強い信仰と愛であったと思えます。

こんな凄く先生が南高にいた!
 (高崎市・元南高校教師) 金井秀一先生より

昭和三十年であり、昨年は記念すべき四十周年でした。そして、私共高二十六回生も昭和三十年生まれで共に四十歳だと言った時、驚きまじりながらも、今更にはそれ以上に上です。それは、偶然の産物ではなく、この世に存在するすべてのものに、必ず思い出すべきものが潜んでいて、それは、尾崎初代校長だと思えますが、もとより私共は、尾崎先生に直接教えをいただいたことありませんし、お目にかかったことすらありません。けれども、校歌を通じて尾崎先生を始めとした先達の思いが伝わってきます。校歌には、先達の方々の母校に対する思いがいっぱい込められています。そしてそれは、正に「建学の精神」の表われであると思えます。

「校歌・応援歌ものがたり」と大きな力

高26回 青島秀樹



この時私は、それでは恕先生は没後何年になられるのだろうかと思ひ、電話を切つてすぐ調べてみました。没後三十六年でした。ついでに、もしご存命であれば何歳になられるのかと見えました。明治二十八年の五十回忌と合わせて行う予定だったので、いい時期に作っていただきました」と言われました。そのタイミングの奇妙な一致の不思議さと共に、大変喜んでいただきました。

●歌い継がれている限り伝統は不滅●

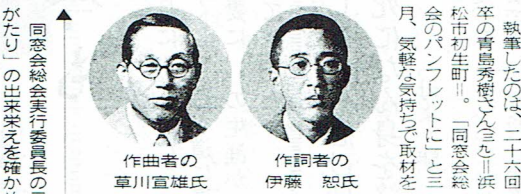
高校のアイデンティティではないと思われている諸先輩も多くいらつしやることと思ひます。「見付中学の伝統はどこに行ったのだ」と。しかしながら、校歌の中に込められた先達の思い、建学の精神といったものは時が移り人が変わったとしても、歌が歌い継がれていく限り忘れ去られることはないと思ひます。校歌を歌えば、現役の警南生も、今年卒業したばかりの新米同窓生も、見付中学で卒業の

これが警南高「校歌物語」

OBの青島秀樹さんが一冊に



創立警南高OBが「この頃、同校校歌の成り立ちを独自調査し、小冊子『校歌・応援歌ものがたり』にまとめた。長年同校関係者に親しまれながら、「生い立ち」について知られてきたのは「作詞伊藤君(ひろし)、作曲草川宣雄」だけ。OBは関係者の証言や資料をとり、校歌の知られざる裏顔に迫った。



作曲者の草川宣雄氏



作詞者の伊藤 恕氏

作曲者は「夕やけ小やけ」で有名な草川信氏の兄だった

始まった。同校前身の見付中OBから聞かれた言葉は「私たちが分らない、手探りの調査を始めた。物である。草川氏は昭和五年誕生で、父は東京音楽学校大正十三年から同校国語講師でオルガンを担当し、文藝部顧問(現東京芸大音楽学部)で同校校長を務めた人物。関係者 宣雄さんと親交があった。一方草川氏については、とを期待して

(平成7年8月16日 静岡新聞夕刊より) 記者は(高34回) 石川善太郎さん

校歌には、先達の方々の母校への思いが“いっぱい”

縁ということをした。その時ほど感じたことにはありませんし、正に必然だったのではないかとさえ思いました。「力」と言えば、他にも感じた「大きな力」があります。それは、「母校の伝統の力」とも言うべき大きな力のことです。困難な作業をすすめていくことも、伝統の力に後押しされたような気がしますし、大先輩の皆様方から母校のお話を伺う中でも、この伝統というものを如実に感じました。伝統の上に今の母校があるのだ。と心の底から気がつきました。

「美しくして さしあげたい」の心を大切にしています。
かまだや 資生堂
 アルビオン デシラ
 元場 宣雄 (高12回)
 磐田市東町4981 TEL. 32-4647

総合建設業
石川建設株式会社
 磐田市今之浦5丁目1-1
 TEL (0538) 36-0021

贈り物に! 遠州名産
志そ巻・青しそ巻・味衣
 製造元(株)松田屋本店 発売元(株)富士丸吉
 磐田市富士見町 ☎0538(32)4158代
 代表取締役 鈴木邦孔 (南高10回卒)

建学の精神との



船本壽子さん

先生の母方の縁者に
 私たちは、楠馬先生母方の船本家にご縁のある方々に、お目にかかることができました。

先生の従兄弟の妻に当たる船本壽子さんからは、こんなエピソードをうかがいました。「楠馬さんが私の家



船本浩一郎さん

を訪ねてこられましたね。私が十八か十九歳で、まだ新婚の頃でした。折角おいでなのだからと、ちよつとしたお料理をとりましたら「そんな気遣いはしない方がいい」と言われました。とても質素な方でしたこと。先生の又従兄弟に当たる船本浩

一郎さんからは、家系図と「ふるさとの先人船本楠吉」という記事が載った高知新聞のコピーをいただきました。浩一郎さんは、仕事の都合で郷里の高知を離れていたため、楠馬先生とは一度も会ったことがなかった

そうです。泊めてもらった「感堂」という別荘は、楠馬先生の生地から奥に入った山頂の考える村にありました。村長役の山川隆澄さんの弟が、浩一郎さんの義弟とわかり、不思議なご縁に感動しました。

土佐には「茶室」もありませんし」という伝統があります。私達は、そのホスピタリティ（親愛の情）にすっかり魅せられ、感慨新たに帰省しました。

訪問以来、はぐま会館に掲げてある額や蔵書が急に

「尾崎楠馬先生遺稿集」を



<高知> 考える村

自然の中に人間の生き方を考える

楠馬先生の生地は、この山の麓に

「校歌・応援歌ものごと」は、反響が大きく全国各地から感嘆の声が届いています。寄せられた手紙の一部と、執筆者である青島秀樹さんの想いを紹介しながら、そのエネルギーの源を追い求めました。

そして、前17号で紹介した木野省三さん(高21回)の後を追って、私たちが編集部も昨年10月5日から7日、楠馬先生の生地である高知を訪ねました。

青島秀樹さんの「校歌・応援歌ものごと」は、大変な労作ですね。一気に読了、感動しました。忙しい仕事の合間を縫っての作業、その情熱と努力と行動力には感心するばかりです。

流石、南高。こういう人、もいるのですね。作詞者伊藤恕先生のごことは初めて知りました。なんと形容してよいか、こんな凄く先生が南高に居られたとは。そんな偉大な先生の後塵を拝して私も南高の教壇に立ったことを誇りに思

います。牧野選手を讃えた詩、「輝く蒼」私も朗読しました。青島さんも述べておられた如く、六十五年の歳月を超えた何かが私の胸にも伝わってきて、こみ上げるものがありました。

尾崎先生を育てた高知の風土と教育の心

尾崎楠馬
 明治十一年(一歳) 高知県安芸郡赤野村桜浜に生まれる。
 明治十三年(三歳) 母の実家船本家に預けられる。当主は叔父楠吉、祖母健在にてその養育を受ける。
 明治二十年(十歳) 叔父船本楠吉の膝下に移る。



見付「見性禅寺」に尾崎先生ご夫妻は眠る。

（安政六年、昭和十九年）教育者特に女子教育に力を入れ、県立安芸高等女学校の前身を築いた。教え子には浜口雄幸元首相もいる。また、楠吉は残り少なくなった所有地を学校用地に提供したり、道の舗装にも尽くした。

孫が大阪の小学校で進学を重点にした受験教育を詰め込まれていると聞いて猛反発、大阪へ乗り込み、大論争を繰り広げた。

こうした情熱や業績が慕われ、教え子たちが碑を建てたのは存命中の昭和十五年。孫の浩一郎さん宅には「先生にはお世話になりました」と没後にも来客が絶えなかったという。

楠吉は数学教師だったが和歌や習字も達人。家運長久を願って子孫のためにこう詠んでいる。

身は薄く人には厚く円(まろ)やかに 飾らぬ庭にみかけ子宝 遠くとも明るき大路をたどれかし 近きはまろぶ蘭路(やみじ) ありなん

あふれる母校愛に感動

考える村事務局長 山川隆澄さんより

とにかく驚きました。「同窓会だより」、卒業生がこんなにたくさん投稿しているのは、まずないでしょう。そして、みんな母校愛に溢れ、生き生きとしています。うらやましい限りです。これこそ「真の教育の証明」以外の何ものでもないでしょう。

「校歌・応援歌ものごと」もたいそう興味深く、又感心して読ませていただきました。私は、キリスト教会へも毎礼拝の礼拝へ25年間行っていますし、特に讃美歌は大好きで大声でよく歌います。なお讃美歌259番は私達の教会でよく歌います。又作詩作曲にも興味があって、少しやりますので、食い入るように読みました。

伊藤 恕 先生をしのぶ

ひろし 麒麟先生 ～「ドカ中の群像」より (見伊)

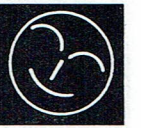
伊藤恕先生は、女のように静かな先生であった。風呂敷包みやうに腕にかかえて持って歩かれた。麒麟というアダ名の先生にいただいた。机の間を歩きながら本を読まれた姿が今なお懐かしい。昭和23年、竜洋中学が設立され、私は浜松中部中学より着任。ので、作詞を誰に依頼するかと協議され、私は見付中学の校歌を生を推挙した。

先生にお願いしたところ、ご快諾され、見付より歩いてきて続が続いた。先生の詩が作曲され、発表会があり、先生にも聞いてその夕方、校長が「先生はお金もとらないから、農場でとれたてほしい」と言われ、私は自転車で見付のお宅に出かけた。玄關だが、押し問答の末、遂には「ここに置かせて戴かないと私の後ん」とお願い申し上げ、置いて帰宅。ところが翌日、あの身体で校に返しに來られたのには頭が下がった。食料不如意の頃の話で

静岡県磐田市向笠竹之内273番地の1
 TEL 0538-38-2525

総合建設業 緑のマーク 信頼の
小林建設(株)
 磐田市見付6004
 TEL 32-9175代
 FAX 37-3686

差をつける高感度ファッション 低価格にて実現中!
あおしまや
 赤ちゃんから10才までのファッションの専門店
 磐田駅前通り ☎(0538)32-2532代
 青島公悦(高12回)



生きているから歌うんだ

仲間健在



気な姿を前に、ご高齢の先生も青年教師に廻り、司会の市川六三君の「只今よりホームルームを始めます」で開会、還暦を迎えた教え子も共に一時、昔に思いを馳せた事でした。

出会は 楽しいもの

高11回 渡水隆史
サラリーマン生活三十三年で定年迄の残りを片手の指で数えられる年頃となった。また母校卒業以来三十七年経過した。

四十数年振りの友との再会、それぞれ歩む道は異なっても長年培った経験を財産として今再び第一、第二の人生の船出です。校訓「質実剛健 真剣至誠文武両道」を貫こうと誓い合い、時の過ぎるのも忘れ果てました。

校歌、応援歌を高唱し、一時先生ご夫妻も若返って旧制三高の寮歌を披露くださいました。お帰りの際には玄関まで送り出した昔の悪童どもは誰からともなく万歳を三唱して先生ご夫妻のご健康を祈念し、三三七拍子で次回を約束致しました。あとは部屋毎夜の更けるまでの二次会と相成りました。

ぼくらはみんな生きている

35HR 先生を囲み語る会

高6回 伊藤儀三郎

一月二十日、遠州ふくで荘一泊のクラス会を開催、三年間担任として親しんだ大先輩でもある恩師、大杉文夫先生(中3回)ご夫妻を囲んで語り合いました。卒業時四十一名中出席者二十五名(物故者一名)の元

にはその日はほど遠い。ほんのわずかではあったが、こんな私がヨーロッパのユース選手たちを指導し、かつその指導法についてオランダ協会公認コーチ

地であることに對してひとつ。いまひとつはオランダサッカー協会(KNVB)本部が、その国土の正しく中心であるザイストという人口6万人程度の田舎町に

を憂え、「遷都」論もささやかれるどこかの国との違いは明らかで、この国におけるサッカーの社会的な位置というものを物語る事実だと感じた。

見るもの、聞くもの全てが目新しく、失敗を恐れず何事にも挑戦しようとした過程のひとつに、ユースチームのコーチング実践があったわけだが、改めてサッカーというスポーツの魅力に触れることができた。

「生音で」とは、一人の肉声が800席の最上階までマイクなしで聴こえるということです。是非一度ご体感ください。



高34回 駒形一路 (南高サッカー部顧問)

オランダサッカーを垣間見て

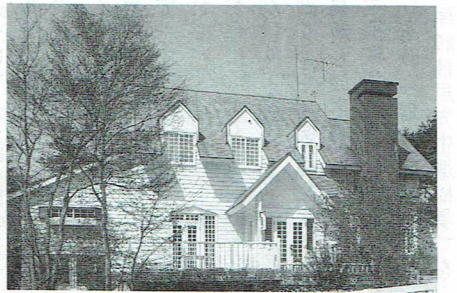
ご褒美と、自身のサッカー観のサビ落としのつもりで仲間と一緒に二週間のコーチング研修に出かけた。

あるということに對して。国内のどこから来るにも、またどこへ行くにも便利な土地に本部を置くという発想は、余分な滴が垂れないように紳士用アマガサを日本人には不親切なほど高く置く発想と同じく、オランダ人に独特の合理主義によるものであろう。一極集中

「アコースティック」とは「感動とくつろぎ」の共存

「アコースティック」とは「感動とくつろぎ」の共存

「アコースティック」とは「感動とくつろぎ」の共存



高22回 出口悦子さん
カントリー・イン・オーチャードハウス
夫婦で経営
一八年前、御主人が「子供は土の上で育てたいね」と一言。脱サラ。山梨県清里村八ヶ岳の麓に「カントリー・イン・オーチャードハウス」をオープン。建物は若草物語をイメージ。アンティーク家具でまと

められた館内。居心地のよいラウンジ、プライベートルームなど、ゆったりと配慮された寛ぎの空間。「お客様が主人公」がモットー。御主人が清里の自然をガイド。チェックイン時には悦子さん手作りのクッキーが心づくしのサービスいっぱい。山梨県清里高原への旅はいかが? ☎0551-481292 (富士子)

「アコースティック」とは「感動とくつろぎ」の共存

「アコースティック」とは「感動とくつろぎ」の共存

有限会社 榎本不動産
〒438 磐田市国府台(桜ヶ丘)30-8
TEL (0538) 32-8808
榎本美佐子(高20回)
カラオケパブ 異人坂
〒438 磐田市城之崎3丁目5-8
TEL (0538) 33-0270

割烹旅館・和風レストラン
大孫
磐田市見付天神社入口
Tel.0538-32-7328代 Fax.0538-32-7329

多様化する包装ニーズにお応えします。
Aoshima
青島ビニール株式会社
磐田市中町220-5 TEL 0538-32-7378(代)
(県立磐田農業高校西門前) FAX 35-5761

今年度の総会

番年次は高27回生、慰霊祭当番年次は高1回生です。



OB文庫から見る同窓生の活躍

年間の寄贈、実に38件



平成7年7月～平成8年7月

OBによる著作

- ・シンガポール・マレーシアの華人社会と教育変容 小木裕文(高20回)
- ・夏の花フィールド検素図鑑 内藤俊彦(高10回)
- ・Net ware for Macintosh ハンドブック 吉田篤史(高36回)
- ・ほりこしの里 鈴木伴司(高2回)
- ・あゝ紅の血は燃ゆる 見中21回生一同
- ・アルミニウム合金の疲労強度 竹内勝治(見中21回)
- ・アルミニウム合金展伸材 竹内勝治(見中21回)
- ・続下カ中の群像 見中11回生一同
- ・ジャワ敗戦抑留日記 (1046～47) (南方軍政関係史料22) 大庭定男(見中14回)
- ・The Japanese War 大庭定男(見中14回)
- ・戦中日記 ロンドン日本語学校の英訳書 大庭定男(見中14回)
- ・私学心経の思想 藤見紀雄(高9回)
- ・CD+楽譜集 ブルース・ピアノ・マスター 村松充昭(高29回)
- ・戦後50年学童疎開の子どもたち(全3巻) 特別報道写真集戦後50年

厚意による寄贈

- ・戦後50年(5) 作家の自伝(全20巻) 静岡県民の暮らしにみる戦後50年 ひめゆりの塔 学徒隊長の手記 数字で見る戦後50年 日本のあゆみ 雲ながるる果てに 戦没海軍飛行予備学生の手記 昭和史 世相篇 終戦日記 クロニック戦国全史 以上(見中20回生一同)
- ・戦後50年(1) みんな生きていた 戦後50年(2) 日本とドイツ深き淵より 戦後50年(3) カイシャ大國 戦後50年(4) 豊かさの中で 戦後50年(5) 戦後50年(4) 上・下) 戦後50年(1) 戦後50年(2) 戦後50年(3) 戦後50年(4) 戦後50年(5) 戦後50年(6) 戦後50年(7) 戦後50年(8) 戦後50年(9) 戦後50年(10) 戦後50年(11) 戦後50年(12) 戦後50年(13) 戦後50年(14) 戦後50年(15) 戦後50年(16) 戦後50年(17) 戦後50年(18) 戦後50年(19) 戦後50年(20)

文部大臣奨励賞受賞 自然観察部

部長 杉田 樹彦

コアシサシは、カモメ科に属する体長約一八センチの渡り鳥で環境庁編「日本の絶滅のおそれのある野生生物」の希少種に指定されています。赤道の南から本州に飛来して、海岸や埋め立て地、河川の中洲などで五〜八月ころ集団で巣を作り、繁殖します。

平成三年に先輩たちが浜北大橋南の天竜川の中洲に大きな繁殖地を発見し、翌平成四年から調査に取り組み、生息

数、繁殖の生態、行動範囲の研究を進めてきました。その結果、平成六〜七年にかけて共に一〇〇個前後の営巣を確認し、日本最大規模の繁殖地であることを明らかにしました。また、行動範囲の研究中、オーストラリアから渡って来た個体を日本で初めて確認し、日本鳥学会で発表して高い評価を受けました。この片道八〜四四kmの渡り距離は、コアシサシの世界最長記録です。

研究と共に進めてきたのが保護活動です。中洲の砂利の間にコアシサシの巣や卵やヒナは見分けにくく、その存在に気づかないまま、踏みつぶされてしまう危険があります。そこで平成六年五月末、アユ解禁直前に、中洲に立入りの自粛を呼びかける看板設置とロープ張りを始めたのが発端でした。これは効果があって、保護は成功しました。ところが私たちの力ではどうしようもないことも生じた。集中豪雨による増水で中洲が冠水してしまうことです。その結果卵もヒナもすべて流されてしまったのです。ところが



磐田南高新聞より(平成8年3月1日発行第169号)

平成8年度 磐田南高等学校 同窓会役員

第17代会長	江間金作	高5回	副会長	山本賢	高16回
副会長(新任)	鈴木源市	高6回	副会長	村田教子	高18回
副会長	梅葉修司	高8回	会計監査	鈴木茂徳	高9回
副会長(新任)	大橋忍	高11回	会計監査(新任)	石川大造	高12回
副会長	橋本洋子	高14回			

同窓会校内幹事

中村修	体育講師	高5	鈴木孝雄	理科	高21	松下和弘	社会	高33
後藤澄夫	社会	高8	松村典子	国語	高23	駒形一	国語	高34
山本達男	社会	高8	吉崎久子	国語	高25	鈴木祥充	体育	高34
長谷川寿一	体育	高11	大沢健一	数学	高27	野村賢一	英語	高34
安達敬子	体育	高11	鈴木真有美	書道講師	高27	平出敦子	音楽講師	高40
大場駿二	理科	高11	加藤定英	英語	高29	熊谷ちえみ	英語	高41
兼子正枝	理科助手	高13	沢井智ひろ	養護	高31	熊川朝子	家庭講師	高44
松本勝彦	体育	高18	平井孝治	国語	高32			

●母校教職員の人事異動 平成7年度末 ○印 同窓生

転出			転入		
氏名	在職年	転出先	氏名	前任校	前任校
教頭 桑原允嗣	2	新居副校長	教頭 田中幸治	藤枝西教頭	藤枝西教頭
村木恭次郎	3	静岡西教頭	鈴木基夫	浜松商教頭	浜松商教頭
国語 小野田日寿	10	磐田北	国語 ○平井孝治	浜松湖南	浜松湖南
村松正教	5	浜松城南	特別講師 松野由美	新田	新田
井口琢也	9	浜松北	地公 磯貝直樹	浜松南	浜松南
数学 太田一夫	9	三ヶ日教頭	数学 藤田昌季	新田	新田
西沢安彦	3	浜松南	理科 ○大場駿二	浜松湖南	浜松湖南
寺田正之	8	退職	理科 ○高野武彦	池新田	池新田
原謙一	6	御殿場	音 露木明	新田	新田
音楽 増野真佐美	5	金谷	音 小林南香	新田	新田
英語 ○川合末浩	10	退職	英語 飯尾晃宏	浜名	浜名
青島正治	4	退職	○熊谷ちえみ	伊東	伊東
特別講師 和久田君代	10	退職	家庭講師 京極郁子		
石渡かおる	1	退職	家庭講師 ○熊川朝子		
英語講師 ○鳥居和子	2	退職	定時制国語 佐々木一	新任特別講師	新任特別講師
定時制国語 宮崎辰夫	5	掛川東	定時制理科 等々力一	新任特別講師	新任特別講師
定時制理科 ○藤村達也	5	森	事務主事 三井優子		
事務主事 遠藤香里	3	掛川西			

四季の花ありがとう

磐田郵便局が感謝状



永谷部長に感謝状を渡す馬場局長(左端)＝県立磐田南高で

暮らしに身近かな足として
無線騒音の少ないAVMコンピューター自動迅速配車/
袋井交通ワジー
竹原直久(高22回)
☎ 42-2251
フリーダイヤル 012-012-2251

処方せん調剤・医薬品
(有)川崎屋 森川薬局
広岡店・浅羽店・あすなる店
本部：袋井市川井40-1 TEL.42-2336
森川和美・博史(高22回) 令子(高24回)
新規出店・調剤業務拡張につき
薬剤師募集中(5名)

あなたの街のあなたのマイバンク
静岡銀行
SHIZUOKA BANK
支店 野長 鶴牧孝俊(高21回) 支店 長 丹羽 武(高22回)
支店 東長 大津善敬(高23回) 支店 長 平野幸次郎(高24回)
支店 西長 原田 融(高24回)

